

参考値

福島第一 港湾内 海水核種分析結果 < 1/2 >

(データ集約 : 7/30)

採取場所	福島第一 物揚場前海水 <sup>*</sup>				福島第一 1~4号機 取水口内北側海水 (東波除堤北側)		福島第一 1号機取水口 (遮水壁前)		福島第一 2号機取水口 (遮水壁前)		福島第一 4号機スクリーン海水		炉規則告示 濃度限度 (Bq/L) (別表第2第六欄 周辺監視区域外の 水中の濃度限度)
	試料採取日時刻	平成26年7月29日 6時55分		対象外		平成26年7月29日 6時25分		平成26年7月29日 6時48分		平成26年7月29日 6時45分		平成26年7月29日 6時30分	
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	
I-131 (約8日)	ND	-	-	-	ND	-	ND	-	ND	-	ND	-	40
Cs-134 (約2年)	ND	-	-	-	6.2	0.10	8.6	0.14	8.1	0.14	18	0.30	60
Cs-137 (約30年)	2.4	0.03	-	-	22	0.24	23	0.26	22	0.24	51	0.57	90

炉規則告示濃度は、「Bq/cm<sup>3</sup>」の表記を「Bq/L」に換算した値

その他の核種については評価中。

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

本分析における放射能濃度の検出限界値 (I-131が約3Bq/L、Cs-134が約2Bq/L)を下回る場合は、「ND」と記載。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

\* シルトフェンス開閉を行った日は、開閉実施後にもサンプリングを実施。

参考値

福島第一 港湾内 海水核種分析結果 < 2/2 >

(データ集約 : 7/30)

採取場所	福島第一 1~4号機 取水口内南側 (遮水壁前)		福島第一 港湾口 *				福島第一 6号機 *						炉規則告示 濃度限度 (Bq/L) (別表第2第六欄 周辺監視区域外の 水中の濃度限度)
	試料採取日時刻	平成26年7月29日 6時32分		対象外		対象外		対象外					
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	
I-131 (約8日)	ND	-	-	-	-	-	-	-					40
Cs-134 (約2年)	7.4	0.12	-	-	-	-	-	-					60
Cs-137 (約30年)	20	0.22	-	-	-	-	-	-					90

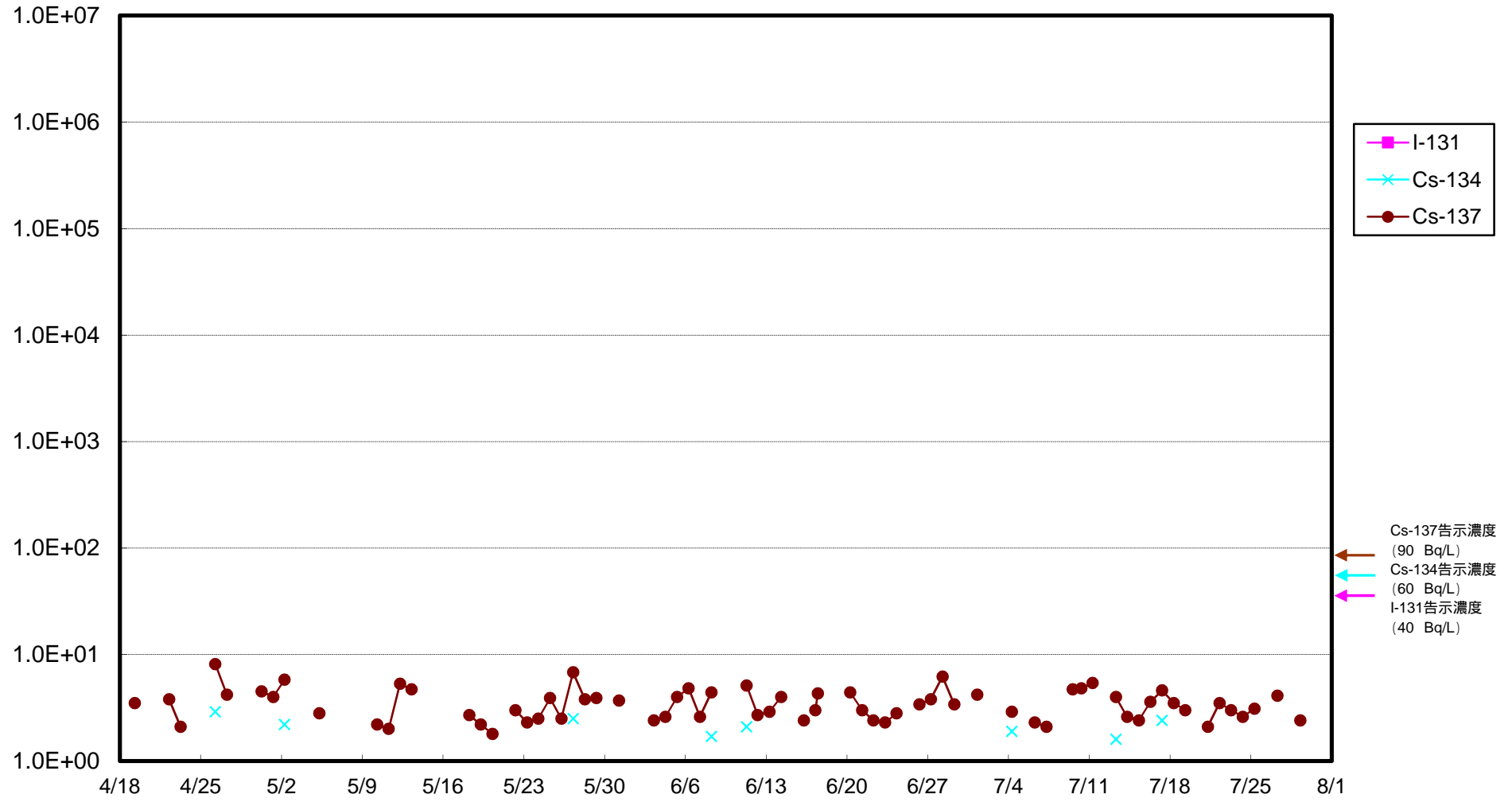
炉規則告示濃度は、「Bq/cm<sup>3</sup>」の表記を「Bq/L」に換算した値  
その他の核種については評価中。

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。  
本分析における放射能濃度の検出限界値 (I-131が約2Bq/L) を下回る場合は、「ND」と記載。

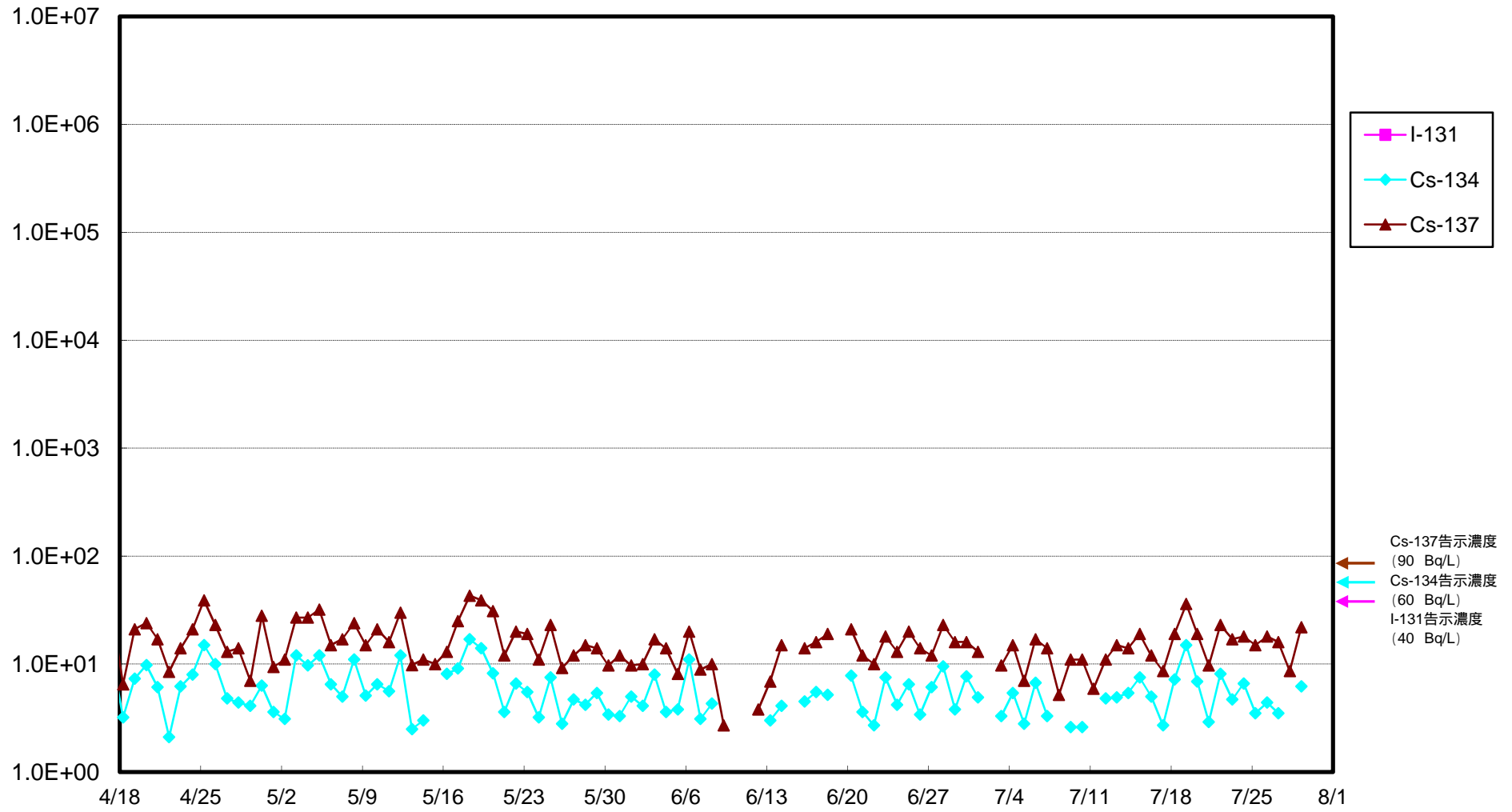
ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

\* 一回 / 週の頻度でサンプリング実施 (港湾口についてはシルトフェンスの開閉, 及び港湾内被覆工事を行った日にもサンプリング実施)。

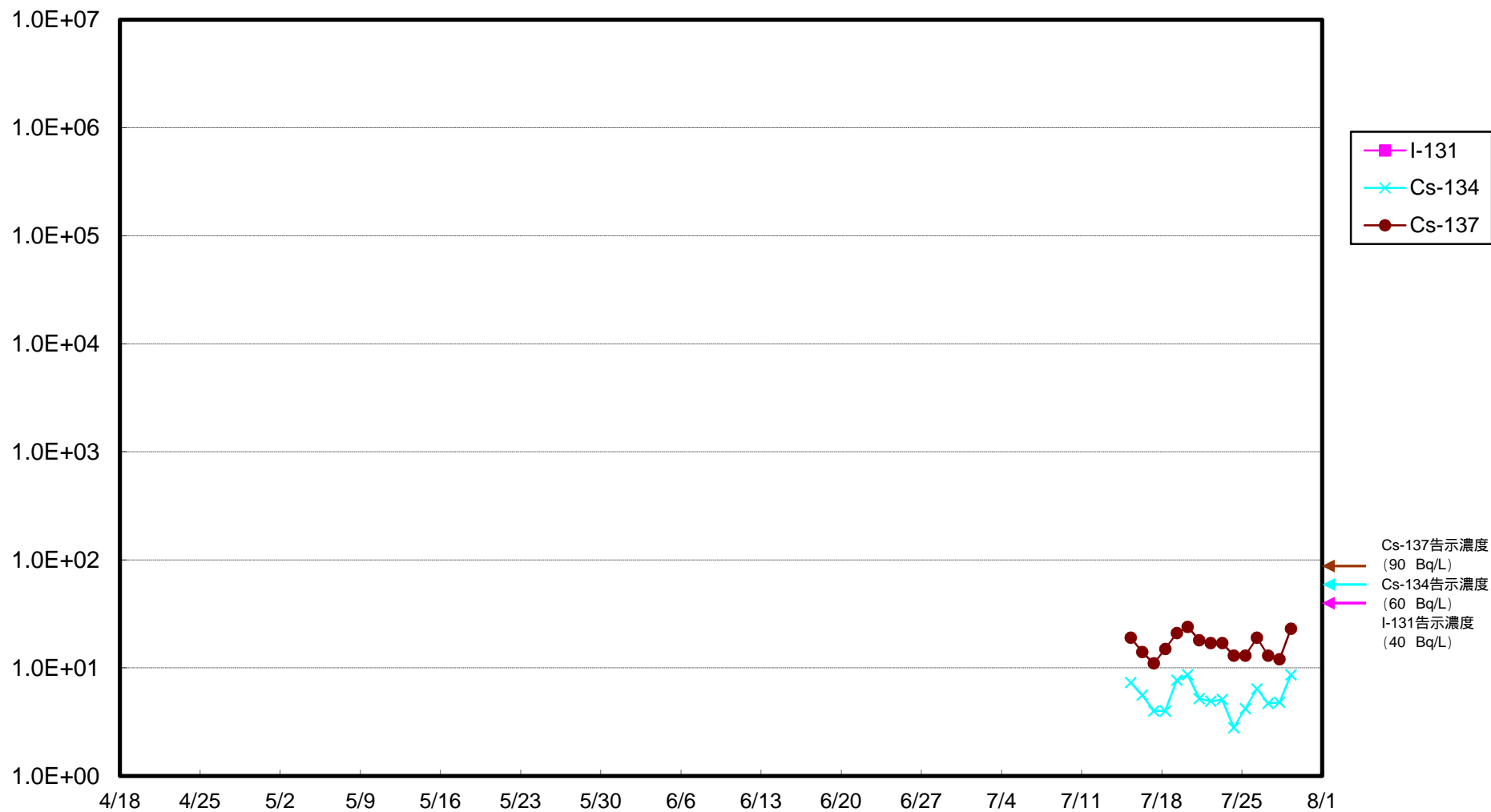
福島第一 物揚場前海水放射能濃度 (Bq / L)



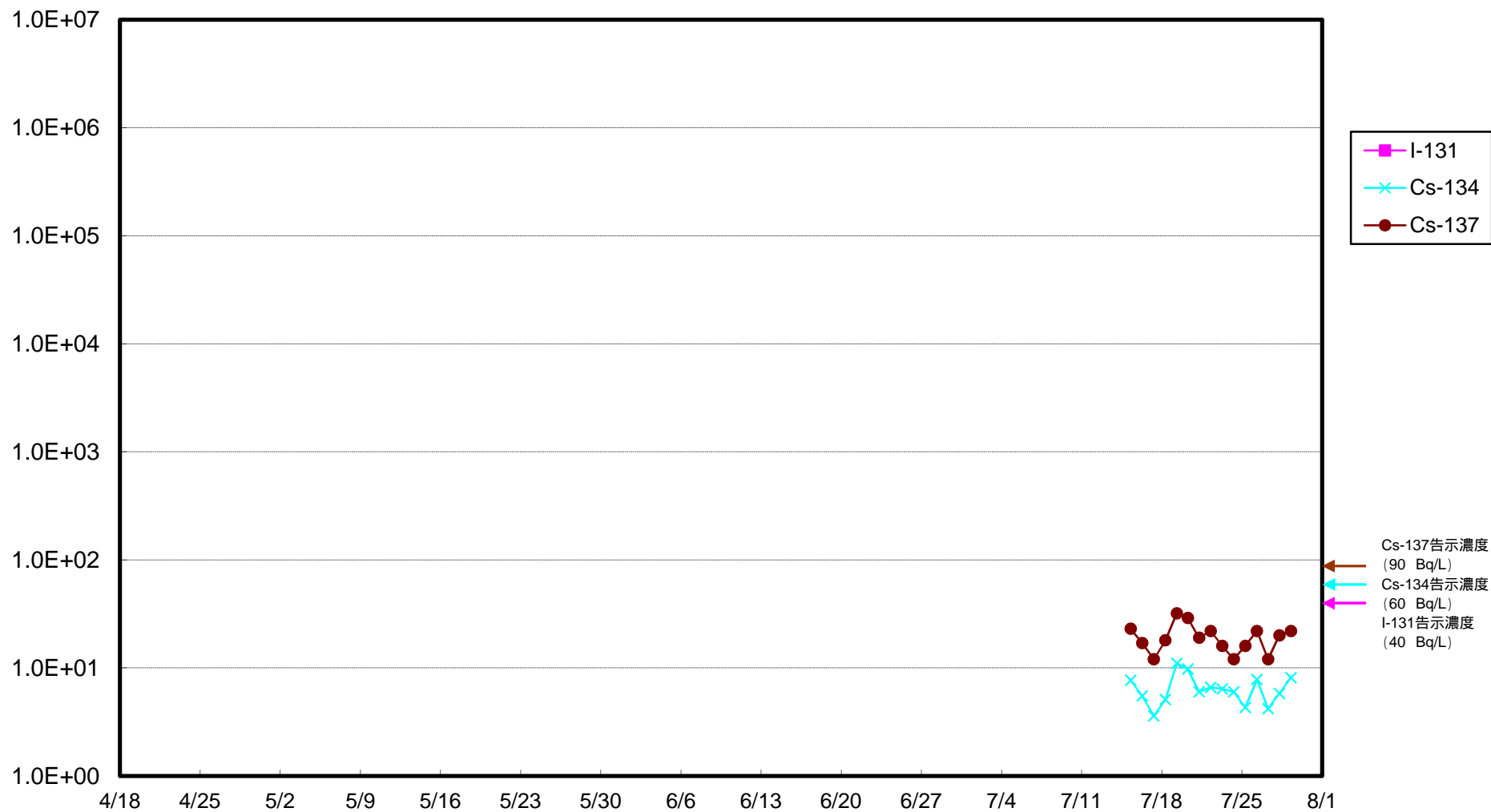
福島第一 1~4号機取水口内北側海水(東波除堤北側)放射能濃度(Bq/L)



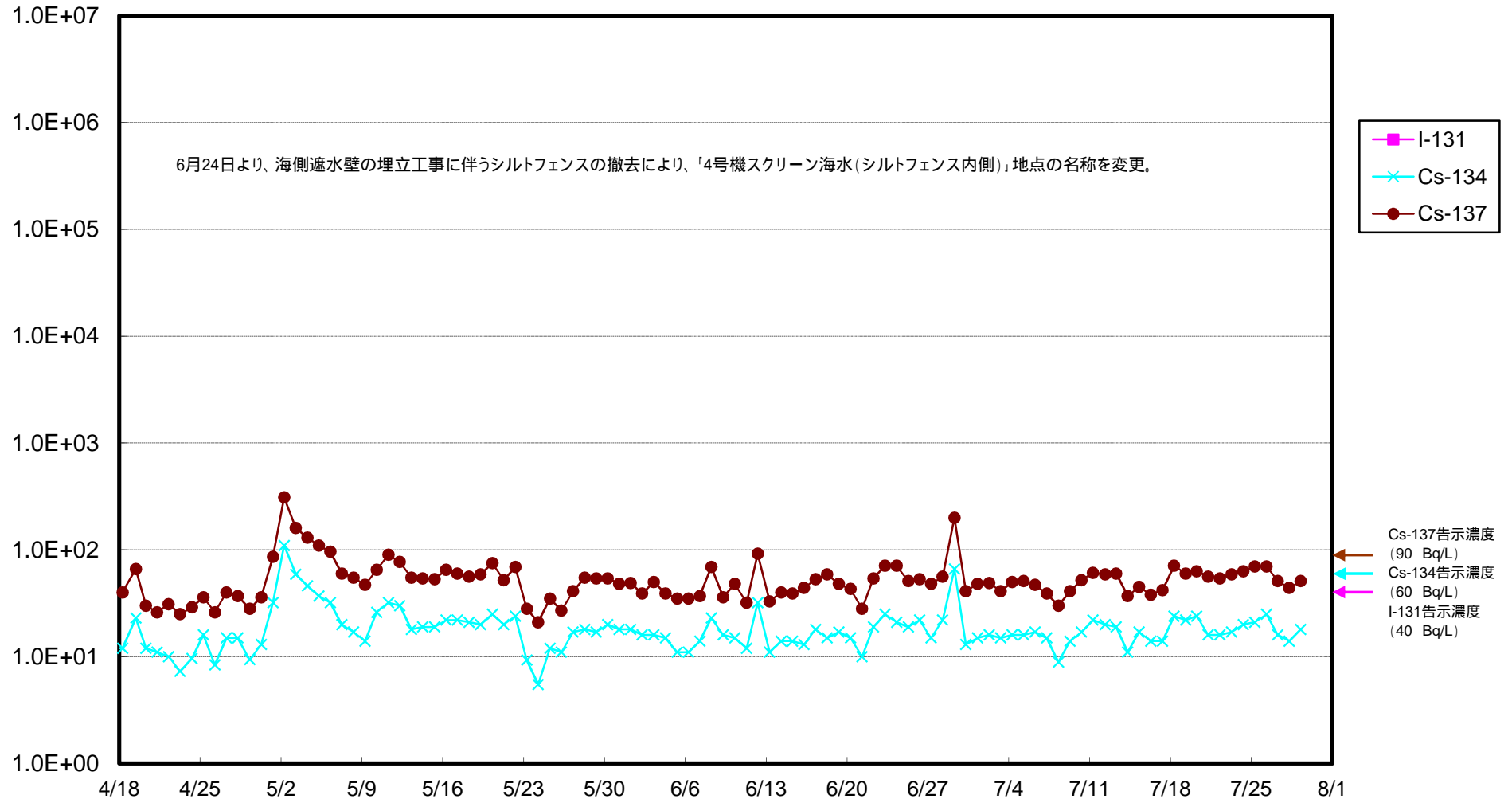
福島第一 1号機取水口(遮水壁前)海水放射能濃度 (Bq / L)



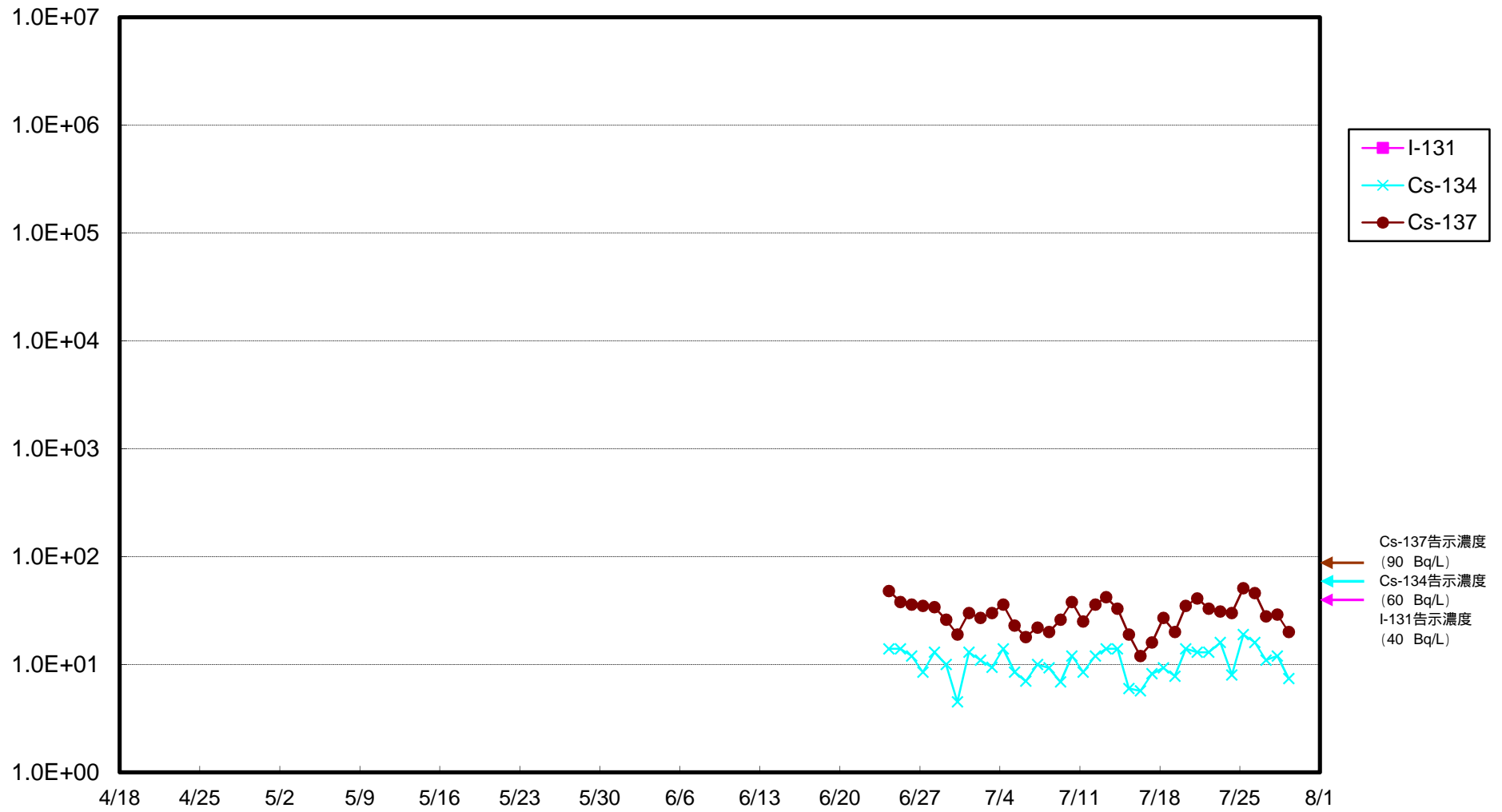
福島第一 2号機取水口(遮水壁前)海水放射能濃度(Bq / L)



# 福島第一 4号機スクリーン海水放射能濃度 (Bq / L)



福島第一 1～4号機取水口内南側(遮水壁前)海水放射能濃度(Bq/L)





訂正版

## 福島第一 1～4号機取水口内 海水核種分析結果&lt;1/7&gt;

(データ集約：H26 6/20)

採取場所	福島第一 1～4号機 取水口内北側海水		炉規則告示濃度限度 Bq/L (別表第2第六欄 周辺監視区域外の 水中の濃度限度)
試料採取日	平成25年9月22日		
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	
I-131 (約8日)	ND	-	40
Cs-134 (約2年)	46	0.77	60
Cs-137 (約30年)	94	1.0	90
H-3 (約12年)	3,000	0.05	60,000
全	ND	-	-
全	810	-	-
Sr-90 (約29年)	720	24	30

炉規則告示濃度は、「Bq/cm<sup>3</sup>」の表記を「Bq/L」に換算した値

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

I-131, Cs-134, Cs-137, 全 については平成25年9月23日公表, H-3については9月25日公表,

Sr-90については平成26年1月15日公表。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次のとおり。

I-131が約4.1Bq/L, 全 が約2.6Bq/L<sup>\*1</sup>。

\*1 全 の検出限界値を 約0.13Bq/L 約2.6Bq/L へ訂正。

(評価)

H-3, 全 放射能, Sr-90が検出されており, 今回の事故による影響と考えられる。

福島第一 1～4号機取水口内 海水核種分析結果<2/7>

(データ集約：H26 6/20)

採取場所	福島第一 1～4号機 取水口内北側海水		炉規則告示濃度限度 Bq/L (別表第2第六欄 周辺監視区域外の 水中の濃度限度)
試料採取日	平成25年10月20日		
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	
I-131 (約8日)	ND	-	40
Cs-134 (約2年)	36	0.60	60
Cs-137 (約30年)	65	0.72	90
H-3 (約12年)	1,600	0.03	60,000
全	ND	-	-
全	590	-	-
Sr-90 (約29年)	480	16	30

炉規則告示濃度は、「Bq/cm<sup>3</sup>」の表記を「Bq/L」に換算した値

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

I-131, Cs-134, Cs-137, 全 については平成25年10月21日公表, H-3については10月23日公表,

Sr-90については平成26年1月15日公表。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次のとおり。

I-131が約3.3Bq/L, 全 が約2.6Bq/L<sup>\*1</sup>。

\*1 全 の検出限界値を 約0.13Bq/L 約2.6Bq/L へ訂正。

(評価)

H-3, 全 放射能, Sr-90が検出されており, 今回の事故による影響と考えられる。

福島第一 1～4号機取水口内 海水核種分析結果<3/7>

(データ集約：H26 6/20)

採取場所	福島第一 1～4号機 取水口内北側海水		炉規則告示濃度限度 Bq/L (別表第2第六欄 周辺監視区域外の 水中の濃度限度)
試料採取日	平成25年11月17日		
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	
I-131 (約8日)	ND	-	40
Cs-134 (約2年)	25	0.42	60
Cs-137 (約30年)	48	0.53	90
H-3 (約12年)	1,100	0.02	60,000
全	ND	-	-
全	400	-	-
Sr-90 (約29年)	330	11	30

炉規則告示濃度は、「Bq/cm<sup>3</sup>」の表記を「Bq/L」に換算した値

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

I-131, Cs-134, Cs-137については平成25年11月18日公表, 全については11月17日公表, H-3については11月21

Sr-90については平成26年5月28日公表。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次のとおり。

I-131が約3.3Bq/L, 全 が約2.7Bq/L<sup>\*1</sup>。

\*1 全 の検出限界値を 約0.13Bq/L 約2.7Bq/L へ訂正。

(評価)

H-3, 全 放射能, Sr-90が検出されており, 今回の事故による影響と考えられる。

福島第一 1～4号機取水口内 海水核種分析結果<4/7>

(データ集約：H26 6/20)

採取場所	福島第一 1～4号機 取水口内北側海水		炉規則告示濃度限度 Bq/L (別表第2第六欄 周辺監視区域外の 水中の濃度限度)
試料採取日	平成25年12月22日		
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	
I-131 (約8日)	ND	-	40
Cs-134 (約2年)	46	0.77	60
Cs-137 (約30年)	110	1.2	90
H-3 (約12年)	620	0.01	60,000
全	ND	-	-
全	280	-	-
Sr-90 (約29年)	220	7.3	30

炉規則告示濃度は、「Bq/cm<sup>3</sup>」の表記を「Bq/L」に換算した値

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

I-131, Cs-134, Cs-137, 全 については平成25年12月23日公表, H-3については12月25日公表,

Sr-90については平成26年5月28日公表。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次のとおり。

I-131が約4.4Bq/L, 全 が約2.5Bq/L<sup>\*1</sup>。

\*1 全 の検出限界値を 約0.12Bq/L 約2.5Bq/L へ訂正。

(評価)

H-3, 全 放射能, Sr-90が検出されており, 今回の事故による影響と考えられる。

福島第一 1～4号機取水口内 海水核種分析結果<5/7>

(データ集約：H26 7/2)

採取場所	福島第一 1～4号機 取水口内北側海水		炉規則告示濃度限度 Bq/L (別表第2第六欄 周辺監視区域外の 水中の濃度限度)
試料採取日	平成26年1月19日		
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	
I-131 (約8日)	ND	-	40
Cs-134 (約2年)	18	0.30	60
Cs-137 (約30年)	48	0.53	90
H-3 (約12年)	990	0.02	60,000
全	ND	-	-
全	440	-	-
Sr-90 (約29年)	400	13	30

炉規則告示濃度は、「Bq/cm<sup>3</sup>」の表記を「Bq/L」に換算した値

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

I-131, Cs-134, Cs-137, 全 については平成26年1月20日公表, H-3については1月22日公表。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次のとおり。

I-131が約2.2Bq/L, 全 が約2.2Bq/L<sup>\*1</sup>。

\*1 全 の検出限界値を 約0.11Bq/L 約2.2Bq/L へ訂正。

(評価)

H-3, 全 放射能, Sr-90が検出されており, 今回の事故による影響と考えられるが, H-3濃度は, 告示に定める水中の濃度限度を下回る状況である。

福島第一 1～4号機取水口内 海水核種分析結果<6/7>

(データ集約：H26 7/2)

採取場所	福島第一 1～4号機 取水口内北側海水		炉規則告示濃度限度 Bq/L (別表第2第六欄 周辺監視区域外の 水中の濃度限度)
試料採取日	平成26年2月18日		
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	
I-131 (約8日)	ND	-	40
Cs-134 (約2年)	20	0.33	60
Cs-137 (約30年)	57	0.63	90
H-3 (約12年)	1,100	0.02	60,000
全	ND	-	-
全	380	-	-
Sr-90 (約29年)	330	11	30

炉規則告示濃度は、「Bq/cm<sup>3</sup>」の表記を「Bq/L」に換算した値

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

I-131, Cs-134, Cs-137, 全 については平成26年2月19日公表, H-3については2月21日公表。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次のとおり。

I-131が約3.5Bq/L, 全 が約2.4Bq/L<sup>\*1</sup>。

\*1 全 の検出限界値を 約0.12Bq/L 約2.4Bq/L へ訂正。

(評価)

H-3, 全 放射能, Sr-90が検出されており, 今回の事故による影響と考えられるが, H-3濃度は, 告示に定める水中の濃度限度を下回る状況である。

福島第一 1～4号機取水口内 海水核種分析結果<7/7>

(データ集約：H26 7/18)

採取場所	福島第一 1～4号機 取水口内北側海水		炉規則告示濃度限度 Bq/L (別表第2第六欄 周辺監視区域外の 水中の濃度限度)
試料採取日	平成26年3月18日		
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	
I-131 (約8日)	ND	-	40
Cs-134 (約2年)	11	0.18	60
Cs-137 (約30年)	26	0.29	90
H-3 (約12年)	600	0.01	60,000
全	ND	-	-
全	250	-	-
Sr-90 (約29年)	260	8.7	30

炉規則告示濃度は、「Bq/cm<sup>3</sup>」の表記を「Bq/L」に換算した値

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

I-131, Cs-134, Cs-137, 全 については平成26年3月19日公表, H-3については3月21日公表。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次のとおり。

I-131が約2.0Bq/L, 全 が約2.4Bq/L<sup>\*1</sup>。

\*1 全 の検出限界値を 約0.12Bq/L 約2.4Bq/L へ訂正。

(評価)

H-3, 全 放射能, Sr-90が検出されており, 今回の事故による影響と考えられるが, H-3濃度は, 告示に定める水中の濃度限度を下回る状況である。